



ほろのべ

北緯45度のまち

# 議会だより

## 第57号

発行 幌延町議会  
編集 議会報発行特別委員会  
電話 01632-5-1111  
FAX 01632-5-2971

### 第7回 定例幌延町議会

9月8日~9月9日

#### 第7回幌延町議会定例会

が議員全員出席のも  
と9月8日開会され、  
行政報告のあと2氏が  
一般質問を行った。  
議事案件は、報告3件、  
認定9件、同意1件、議  
案8件と発議2件が可決  
同意された。

### 議案審議

報告については、幌延風

力発電(株)の経営状況報告等

認定9件は平成21年度各  
会計決算について

同意は教育委員の任命に  
ついて

議案8件は平成22年度各  
会計補正予算について可決  
されました

発議2件につきましては  
議員からの提案であります

#### 第1号 議員の定数を定める 条例の改正

○提案理由

地方公共団体の議員定数は従前、その人口に比例して定数が定められておりますが本町は平成20年に制定された、まちづくり基本条例の基本理念に則り議会が自主的に判断、決定することとし、人口の減少を充分考慮すると共に第4次幌延町行政改革大綱の自律プランで住民の意向を受け自主・自立の道を選択しました。

現行の10人から1人減が

適当であるといったしましたのは、一点目は近隣町村との比較、二点目はあまり急激に減らすことは、新たに立候補を考えている方の議会への参画の機会を奪うことにつながるのとから考えからであります。

勿論、議会は議決機関として大きな機能と重要な責務を担っております。

議員定数の減少がかかる機能の行使や責務の遂行に障害とならないよう一層の研究に努め、より効果的な議会の運営を図ることとした。

#### 第2号 議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

議会議員の期末手当に加算されている一〇〇分の一五を廃止するものであり、年約百万円の削減となります。

議員定数につきましては、次回の選挙から施行し、議員報酬は公布の日より施行する。

### 風力発電の売電 発電量は、計画を 9%上回る!!

風力発電(株)の21年度事業報告がありました。

資産合計が17億5百76万1千円。負債合計が14億3千3百13万1千円。売電収入が5億1千5百29万7千円。営業費用が3億2千5百3万7千円で当期純利益が9千13万1千円でした。

22年度事業計画・収支概要として売電収入は4億7千32万6千円を見込む一方、経常費用は3億8千4百万円を見込み経常利益を8千6百28万6千円としています。

風力発電は、風況により経営が左右され不安定な面を抱えているが、再生可能なエネルギーとして重要な役割を担っており、適正な経営に努めるとの報告がありました。

問 風力発電の更なる推進及び誘致をすべきと思うが、

答 北海道電力に要請したことが送電線の容量が無いとのことで現在は断念している。

# 地域の課題をとらえて

## 2氏が一般質問



無量谷 隆

Q、降雨による被災対策はどのように考えているか。  
A、実情を把握し関係機関と協議していく。



鷲見 悟

Q、原子力機構の固定資産税はどうなるのか。  
A、現状で推移していくと思われる。

7月28日、29日と大雨で天塩大橋水位観測所では氾濫注意水位が3.1mのところ2.88mまで増水した。

**質問** 今回の水害は災害として認定していくか。

**町長** 町道、農地の冠水等で町内全域で多大な被害があるため、北海道に被害報告し、国へ災害復旧事業の申請をする。

**質問** 町独自の水位観測点があるか。

**町長** 町独自の水位観測地点はない。他の関係機関から情報を得ている。

**質問** 監視体制として一刻も早く町民からの情報網が必要ではないか。

**副町長** 天塩川流域の増水で等高線による形で洪水を想定する、地域限定、町独自のハザードマップ整備を検討していきたい。

**質問** 被害を最小限に食い止める方策はどうか。

**町長** 防災対策として、災害時の危険ヶ所を事前に防災マップという形で作成しお配りした。また光ファイバーで、告知端末機が各戸に配備され、迅速な情報提供が可能となる。

**質問** 農業被害の状況と対策はどのように考えるか。

**町長** 経営対策や飼料確保対策を農協と協議したい。

**経済課長** 自己責任で農地更新、暗渠排水対策はやってほしい。また今後の協議については現地確認をしながら進める。

**質問** 各関係機関との対応は今後どのように考えているか。

**町長** 定期的に協議会を開催し、密に連絡を取っていききたい。

**質問** 原子力機構の固定資産税は4千3百万円で、建物1千4百万円、償却資産2千9百万円の内訳だが、今後どうなるのか。

**町長** 資産の増加がない限りは、年々減少する。今年度は国際交流施設の完成も合って前年並みとなる。

**質問** 原子力機構は電源三法の周辺整備事業の法律で課税対象となっている。しかし土地については非課税、税率も民間と比較すると、4分の1になる。

**会計課長** 勉強不足の所もあるが、研究する。

**財政グループ主幹** 75%が基準財政収入額として算定され、町には25%が入るということになる。

**質問** 今年度課税対象としている水平坑道はどうなるのか。

**会計課長** 償却資産になる。瑞浪市の場合もそうしている。今総務省などで討論をしている。

**質問** 実規模事業はどうなるのか。

**会計課長** 国の施設ということで非課税です。

**質問** 産総研や電中研はどうなるのか。

**総務課長** 国の委託事業なので非課税です。

**質問** 平成21年度の財政状況公債比率11.8%。財政調整基金に3億円積んで、31億円となっている。かなり財政的には豊かになっている。

**会計課長** ここ数年わが町の基金の額は昔と違って増えている。

**質問** 繰越金の額が1億7千万円は多すぎるのではないか。また農林水産業費そのものが町予算で一番になったことがないが。

**町長** 農業予算は重視して行きたい。

**質問** 畜産事業費は、近隣町村と比較しても少なすぎるのでは。

**町長** 基幹産業である酪農を積極的に進めて行きたい。

**質問** 担い手対策は？  
**町長** 農協と相談して進めていきたい。

# 平成 21 年度 決算を認定

無量谷隆氏を決算特別委員長に選任し、9日審査の結果、原案通り可決されました。

一般会計・特別会計・病院会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑についてお知らせします。

## ◆歳出

### 〔商工費〕

(菅原委員) 町長の施策の中で、魅力ある商店街づくりとあったが、決算では色々課題がある。特に高齢者や弱者の方にとって日用品や家庭薬等の購入に苦慮している状況にあるが、21年度にどのような施策を講じたのか。

(宮本町長) 商工会の各部会やJAのAコープとも協議し情報機器を活用し解消していきたい。

(小山副町長) 商工振興については、個々の商店の充実には厳しいものがある。医薬品については診療所建設と共に院外薬局の設置により一般購入できるよう取り進めている。

### 〔教育費〕

(斉賀委員) 子どもの心サポーター相談員の配置と、特別支援教育の実施によりどのように改善されたのか。

(兜教育次長) 子どもの生活の悩み、不安やストレスが先生や親以外の相談員との

コミュニケーションを通じて解消されている。また特別支援員の配置により学習障害等の対応をしている。

(植村委員) 外国語指導助手派遣事業による授業を受けた子ども達の反応と、生涯学習アドバイザーによる効果はどうだったのか。

(伊藤主査) 留萌教育局からのALTと天塩町在住の米国人の二人によって町内各学校に約30回の授業を実施し生の英語を学び子ども達も真剣に取り組んでいた。

(兜教育次長) 動物写真家の富士元寿彦氏による自然体験事業として環境対策等について学んだ。

(吉原委員) 東ヶ丘スキー場のリフトは設置して相当の年数が経ち、今後も修理費がかかると思うがどの程度まで使用できるか。

(兜教育次長) 設置して18年になる。圧雪車等もなんとか使用しているが今後も補修計画等をたて対応していきたい。

## ◆歳入

(植村委員) 約1千2百80万円が未収金となっているがこの金額についてどう考えているか。

(堤会計課長) 滞納繰越や現年度徴収率は例年通りの推移で来ており、新たな滞納を出さないよう努力している。

## ◆総括

(植村委員) 町の運営は税金と国や道からの交付金で賄う事だと思うが、今後自己財源の確保をどのように考えているか。

(宮本町長) 税や使用料は町民の理解をいただきたい。また基幹産業の酪農や商工業の振興を図ると共に風力発電、深地層研究関連から生じる収入の確保で考えている。

(西澤委員) 総合体育館の利用日が変わった事で経費の削減や利用者数等改善された点があったのか。

(戸川主任) 経費は変わらないが、利用人数は30%の増加となった。

(斉賀委員) 自律プランの最

終目標年度を迎えこれまで地域産業の活性化や新産業の創出も目標としていた。特にトナカイ観光牧場のあり方について無料化したしているか。

(宮本町長) 従来から見入場者数が増えており喜ばしいことだ。

(斉賀委員) 21年度目標に地域通貨マネーといった地域内循環システムの構築を盛り込んできたがその成果はどうか。

(小山副町長) 地域通貨等の提案もあり研究してきましたが町内での受け入れ団体の少なさや景気の悪さなどの影響で頓挫してしまった。

(高橋委員) 地場企業の育成と振興ということで人材開発支援センターの実績についてどうか。

(高田経済課長) 稚内地方雇用促進協議会から町内の各企業訪問で職員の研修を実施した。

〔谷口総務課長〕民間団体が研究に取り組んでいるが、人材の確保に苦勞している」と聞いている。

〔鷺見委員〕町の公債比率11・8%に対し、今後企業会計の繰出し等はあまり変わらないと思うが財政基準を基にした町長の判断はどうか。また町には270人の非正規労働者がいると言われているが具体的な雇用対策は。更に、担い手対策、新規就農対策について21年度はどうだったのか。

〔小山副町長〕現在の町財政指標は健全な状況にある、基金の積立もあるが今後、公共施設の修繕費や病院の繰出しもある。

〔高田経済課長〕全体的な雇用環境や企業状況を把握し支援体制を検討していきたい。また酪農振興については町として常にバックアップ体制を取っている。

〔西澤委員〕書の研修事業とスポーツ少年団の報酬と謝礼について違いがあるのどのような事か。

〔兜教育次長〕各種事業を取り組む中で、講師の招へい

や回数等々によって、予算編成するものであり、それぞれ意義のある経費となっている。

〔菅原委員〕21年度は国からの地方交付税を始め電源三法交付金等により52億円とかつてない決算となったが、酪農振興では農協からの要望がないという事で足踏みしているのではないか。またここ数年は建設業の倒産もあり町の中が疲弊していると思うが、町長として満足しているか。

〔宮本町長〕電源三法交付金



第39回幌延町民文化祭風景

を始め固定資産税収入でいろいろ活用出来た。特に大型プロジェクトが着手され原子力関連施設のお陰であると私自身理解している。また酪農振興についても後継者対策等に心配をしており基幹産業の灯を消さないよう努力している。

〔北星園特別会計〕

〔斉賀委員〕園舎が新築され21年度の決算上には見られない効果があったか伺います。

〔小西北星園長〕利用者の高齢化と重度化が進む中、新園舎は全館バリアフリー化や個室化が図られサービスが行き届き、利用者間のトラブルが減っている。

〔斉賀委員〕利用者の高齢化が進む中での生産物収入計画はどのように考えるか。

〔小西北星園長〕天候に影響されないハウス栽培に重点を置き、機械化を図りながら生産効率を高めて行きたい。

〔介護保険特別会計〕

〔鷺見委員〕低所得者に対す

る利用者負担軽減処置を条例制定し実施する考えはないか。(近隣町村の殆どは実施)

〔瀬戸町民課長〕制度等々、近隣の町村を参考に新年度に向けて検討したい。

〔町立病院〕

〔菅原委員〕問寒別診療所は現在月2回出張診療していると思うが建物の老朽化が進んでいる。今後内・外装の改修の考えはあるか。

〔鈴木病院事務長〕22年度から旭川医大からの派遣医の都合で月1回に変更しており、地域の皆様には大変不便をかけている。診療所改修の件は今年度は外壁と屋根を改修することとしており、今後必要な箇所については引き続き補修し診療所の維持管理に努めていく。

〔高橋委員〕病院経営健全化のため医師研究手当の見直しを行っているがどの程度か。

〔鈴木病院事務長〕平成19年度までは月額百35万円の支給でしたが20年度で月額70

万円、21年度からは30万円に減額している。

〔斉賀委員〕21年度の医療機器の更新は予定通り実施されたのか。

〔鈴木病院事務長〕当初予算で冷凍庫の購入を予定していたが診療所計画の中で更新することにし見送りをしている。

〔吉原委員〕今後診療所に変わり一般会計からの繰入れ額がどう変わるのか。旭川医大からの医師派遣は引き続き可能なのか伺います。

〔鈴木病院事務長〕今後病院から診療所へ変わってもすぐには一般会計からの繰入れ額の大幅な減額にはならないが将来的には相当な繰入れ額の削減ができるかと考える。旭川医大からの出張回数は現在原則月3回に変更となっており、派遣されない週については、北海道地域医療財団から派遣医の紹介を頂いているのが現状です。旭川医大の医局医師の不足などから現状では確定的なことは言えない。

# 常任委員会 報告

## ■第7回総務文教常任委員会 (8月30日)

- (1) 平成21年度各会計決算の概要について
- (2) 幌延町情報通信施設設置条例案について
  - ◎ 防災情報等の告知放送サービス
  - ◎ 地上デジタル放送難視対策
  - ◎ 光ファイバー網を全町一円に敷設
- 問 同一世帯から二つ以上の利用申込みはどうする。
- 答 住民基本台帳の登録で原則スタートする。
- 問 個人または法人の事業所への設置はどうする。
- 答 全事業所を調査してルール化したい。
- 問 町の収入源として広告料を取る考えはないか。
- 答 広告料を取ることは想定していない。
- 問 生活改善センター等の避難場所への設置はどうするのか。
- 答 避難場所や各集会場などには双方方向の告知端末機を設置する。

## ■第6回産業厚生常任委員会 (8月30日)

- (1) 安全で安心なまちづくり推進基本計画(案)について
- ◎ 趣旨
  - 21年12月制定の安全で安心なまちづくり推進条例を総合的かつ計画的に推進するために策定
- ◎ 施策対象範囲
  - ・ 防災対策
  - ・ 防犯対策
  - ・ 児童等の安全の確保
  - ・ 青少年の健全育成
- (2) 道路計画について
  - ・ 今後5ヶ年の概ねの計画があるが、町道に関してはバリアフリー化を実施。財源によつてはできない事業もあるが、毎年度協議している。
- (3) 町道問寒別13号線橋の補修について
  - ・ 場所  
林野橋、里見橋
  - ・ 費用  
概算1千5百万以内
  - ・ 工事内容  
ボックスカルバートに変更して架け直す計画調整中

## サークル紹介



『宗文会』  
会長  
田中 豊子

今月号は茶道サークルです。

～会長さんの一言～

日本の伝統文化を無くしてはならないという想いで頑張っています。お茶の心を大切に活動して頂いてお茶にふれて見てください。

Q. 宗文会の活動内容を教えてください。

A. 月2回茶道の稽古をしています。また、子供たちには日本の文化にふれてもらいたいとの想いもあり、文化祭の時に点前(お茶を出す)しています。

Q. 何が一番楽しいですか。

A. 茶道は奥が深く、お茶を通して日本の四季を感じる。



## 議会の動き

- 7月13日～15日 ▶ 各種期成会夏季合同要望会
- 7月20日 ▶ 第69回議会報発行特別委員会
- 8月11日 ▶ 第3回議会運営委員会  
第6回総務文教常任委員会  
第5回産業厚生常任委員会  
第3回議員協議会  
第4回全員協議会
- 8月18日 ▶ 第6回臨時会  
第5回全員協議会
- 8月19日～20日 ▶ 議会広報研修会
- 8月23日 ▶ 第6回全員協議会
- 8月30日 ▶ 第4回議会運営委員会  
第7回総務文教常任委員会  
第6回産業厚生常任委員会  
第4回議員協議会
- 9月8日～9日 ▶ 第7回定例会
- 9月8日 ▶ 第7回産業厚生常任委員会
- 9月9日 ▶ 第5回議員協議会  
第70回議会報発行特別委員会
- 9月10日 ▶ 第71回議会報発行特別委員会
- 9月15日 ▶ 第72回議会報発行特別委員会
- 10月1日 ▶ 第73回議会報発行特別委員会  
秋のクリーン作戦

## 編集にあたって

酷暑だった夏も終わりを迎える季節となりました。最近の話題と云えばタバコ税の引き上げでしょう。愛煙家にとっては懐にも秋風が吹く厳しい決断をしたことと思います。

国としては今回の値上げの目的は「国民の健康増進のために」としてあります。たしかにタバコの煙は喫煙者より、まわりにいる非喫煙者の方が体に悪いと医学者も断言しています。

近年一般家庭でも食後の一服をペランダや外でする主人の姿が増えているようです。今回の値上げでタバコ1本当り町に入る税額は約3.3円から4.6円になりました。国の試算では3割の人がタバコをやめるとし税収も10%以上減ると考えています。私達の町はどこまで禁煙が進むか注目です。

- 編集委員長 植村 敦
- 副編集委員長 無量谷 隆
- 編集委員 菅原利彦
- 西澤裕之